

ビール類の販売動向（2021年2月分）

首題の件につき、下記の通りご連絡申し上げます。
 なお、本メモの表示数の算出根拠は「販売数量」で、「課税移出数量」ではありません。
 また、表示ケース数は大びん換算です。
 よろしくお取り計らいいただきますよう、お願い申し上げます。

記

- ビール・発泡酒・新ジャンル合計は前年比96%でした。
 - ・ ビールカテゴリー缶商品の実績が引き続き好調に推移し、全体の数字を牽引しました。1-2月累計でも前年実績を大幅に上回りました。
 - ・ 緊急事態宣言発令の影響もあり、樽・びん商品は前年実績を下回りました。
- ビールカテゴリーは前年比88%でした。
 - ・ 黒ラベル単体缶商品は、引き続き好調に推移し、前年実績を大幅に上回りました。1-2月累計でも前年実績を大幅に上回っており、昨年の酒税税率改正以降、5ヶ月連続で前年実績を上回っています。
 - ・ エビスブランド缶商品はリニューアル発売したことで缶商品が好調に推移し、前年実績を上回りました。エビス単体缶商品も前年実績を大幅に上回り、カテゴリーの実績を牽引しました。
- 新ジャンルカテゴリーは前年比107%でした。
 - ・ リニューアル発売した「サッポロ 麦とホップ」が前年実績を大幅に上回り、カテゴリーの実績を牽引しました。
 - ・ GOLD STARとの「おいしさツートップ戦略」が機能し、カテゴリー全体で前年実績を上回りました。

<カテゴリー別販売状況>

	2月単月	累計
	前年比	前年比
ビール	88	79
発泡酒	95	95
新ジャンル	107	89
ビール類 合計	96	83

(単位:%)

<ブランド別販売状況>

	2月単月		累計	
	本年函数	前年比	本年函数	前年比
黒ラベルブランド計	82	76	143	70
※黒ラベル単体	-	75	-	69
エビスブランド計	30	82	52	75
※エビス単体	-	87	-	79
GOLD STAR	44	88	95	102
麦とホップブランド計	68	130	87	79
※麦とホップ単体	-	136	-	92

(単位:万ケース、%)